





色々わかんねーところばっか
だからさ よろしく
頼むぜ

ツたくこの忙しい時期に
他人のことなんか
かまってるられないよ…

つと言えない僕が
いる…

ちょっとアンタっ！

！

このっ…

ちっ！

そんな年齢でタバコなんて
すってんじゃ…っ！

あららっじゃい

オホオホ

でっけい









い...いや、僕なんて

いや、いつもありがとね。
ウチのバカに勉強教えてもらって

ぽわろ

助かってるわ

ふあ

ふあ









やっぱ…人に触れるの
気持ちいい…

このまま…

ふがー

!

ズン

あー

ほ

あー

あー

あー

ほ

あーそだ
今度から篤志の勉強会
終わったらよりなよ

きよ…今日は
この辺に
しとこつか

あせ

そ…そうですね
ありがとうございました

あせ

そっちが
嫌じゃなかったら
その…

今度からサービスしちゃうから♪

あ…ああ はい！
ありがとうございます…ごさいます

…それからというもの

篤志くんとの
勉強会が
終わった後は…

おばさんに思いつきり甘えるのが
ボクの日課になって…
最高に幸せな日々が続いた

えいつ

おす

もにん

おにん





そんじゃ…



どうせ寝てるし…
起きないわよね…



おばさんの…
胸で…っ

達夫くん…
おちん○ん…
マッサージしてあげるっ

ぐちゃ

ふん

ふん



そ...そりやもう
もちろんっ

んんんっ

どうっ気持ちいい?

ぢぢぢ
くは...あ...

どう?
出したかったら
出していいのよ

ぴゅぴゅぴゅっ



おおっ

ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぐぐぐ

出しちゃえ
出しちゃえ

ふふふ

あ...ああはい
ぼ...ぼくそろそろっ

ぐぐぐ

ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぐぐぐ

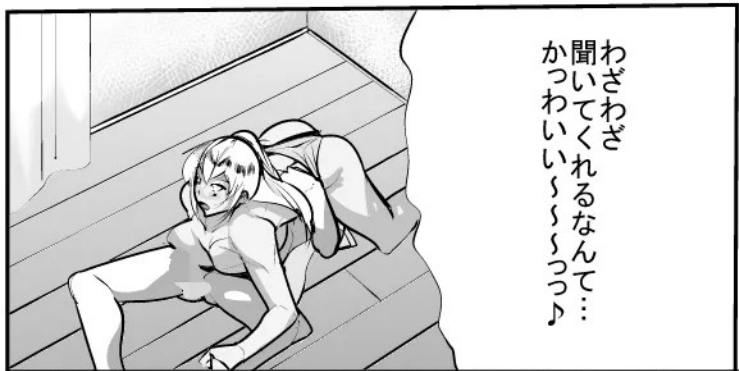
ああ

むおっ
まだこんなにつ

いや
いっぱい出たね

は...はあ...





お...おわわっ
すいません...っ俺

あんっ

んんっ

あゝあはは...

いやゝ
2回目だけど
すんごい元気
だったねゝ

んん...ふっ

あ…あのさ…その…

もし良かったら…

今度…
旅行でも…
とか？二人で？

ダメだったなら
その…いいけど

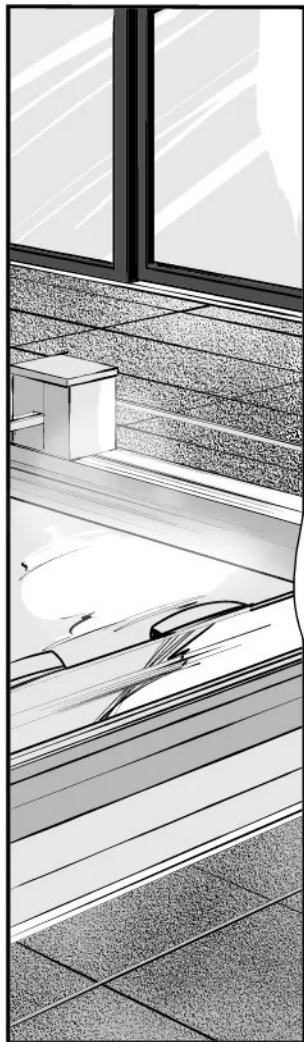
ほ…ホントですか
ホントなら
全然嬉しいです

え…あ
だ…大丈夫です！

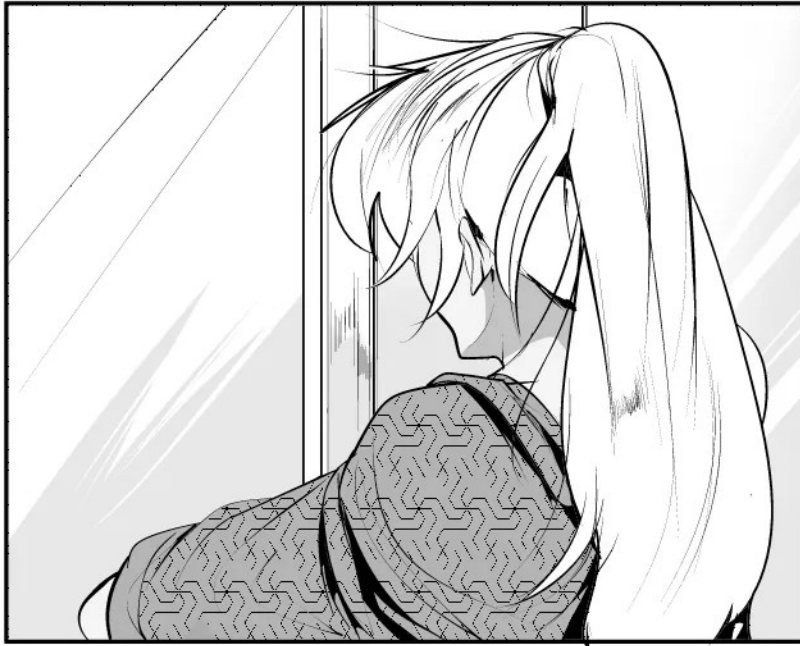
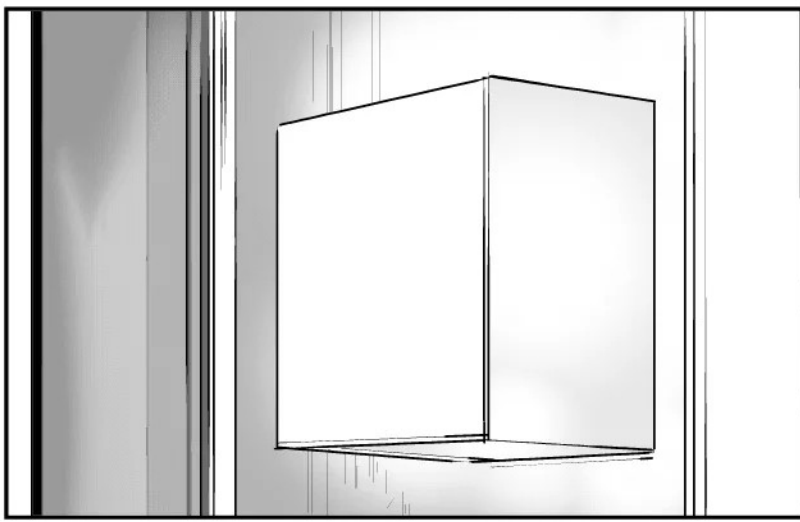
それじゃ
今度の週末！





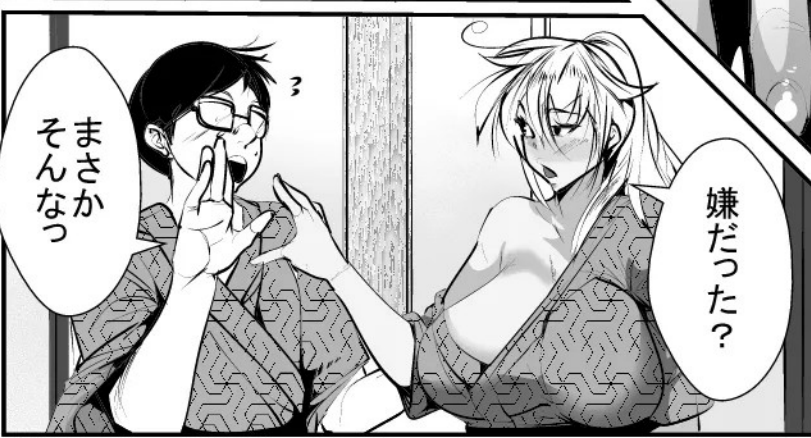
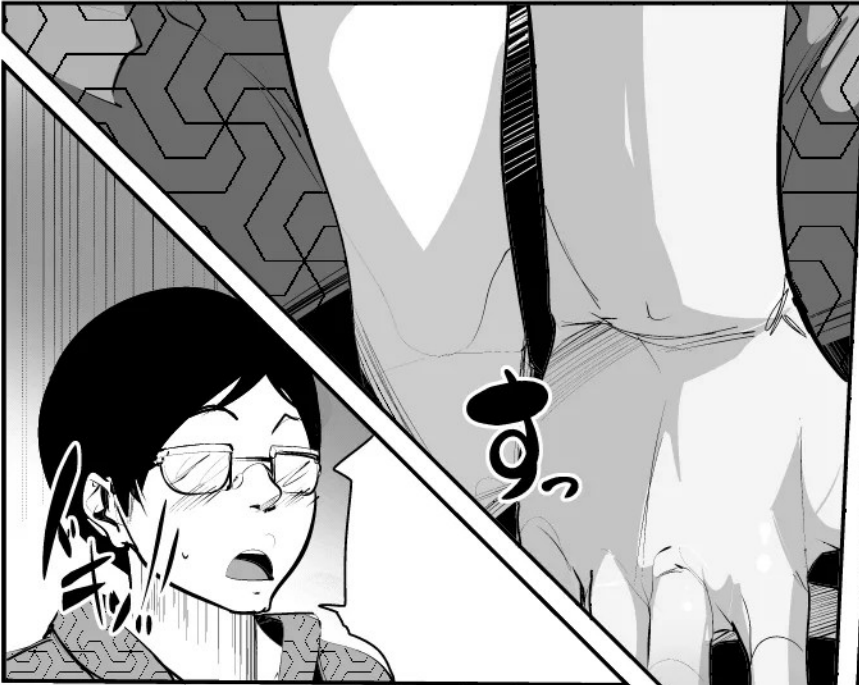
















は…はあ
ふあ

ねえ…アタシのあそ…
触ってみて…っ



ふふ…キス
気持ちよかったねっ

ゆさっ



はあ…んっ

く…ん…っ



く…ん

く…ん

く…ん



ん…ん…ん

ふう…



いっ

ふあっ

あ…ああんっ

くっ
くっ



達夫くん…

そ…その…



達夫くんは…
その…私の事…

私は…達夫くんのこと
かわいいっていうか…
好き…なんだけど…

ぼ…僕は…

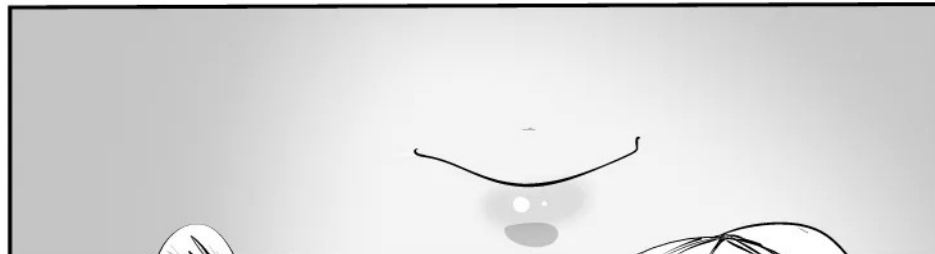


こんなボクにも
優しくしてくれるし…

好きになる要素しか
ないっていうか…っ



大好きですよ
おばさんのこと…



ありがと…っ

今度からは
おばさんじゃなくて…
美里って呼んで

んん…んっ

ぐんぐん

すっ

おちん

おちん



はあ♡

あ♡

必死におっぱい吸って…
かわいいっつ

ちよつとぶきつちよだけど
頑張ってる所が…
ほんといっつ

あんっ

み…美里さん
美里さんっつ

あちゅっ

あちゅっ

おっ



やっぱ若いと
おちん○んがちがちで
さい……こっつ

気持ちいい……い
何年ぶりだろ……
こんなに……
激しく求められるのなんて

あん……あ……っ

ほみ……美里さん
ボクもう

う……うん
いいよっ

い……い……い……

な……

びぽっ びぽっ





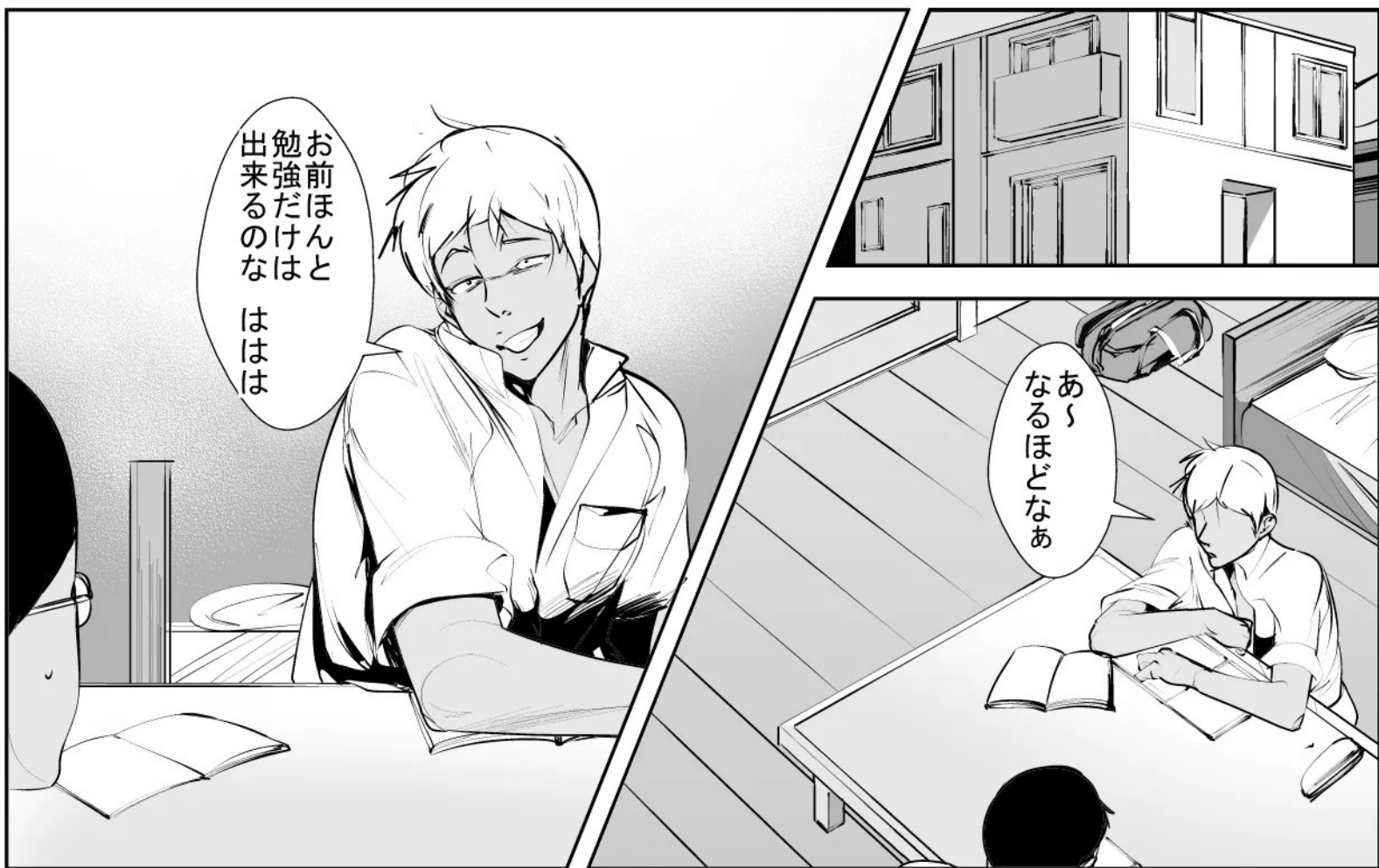
僕はこんなに…
美里さんを…
喜ばせることが
出来るんだっ

うあ…ああ
達夫くん…
じょう…ずう…

あは…それ
いい…
もつと

いっぱい
ずぼずぼおって

はあ…い…い…くう
アタシ…もう
ムリいく…つ
いくう…つ





僕のほうが



...悪いけど





最近じゃすっかり
美里さんの
弱い所も
分かってきた

ふあ…あんつ



へおっ!!

ずき

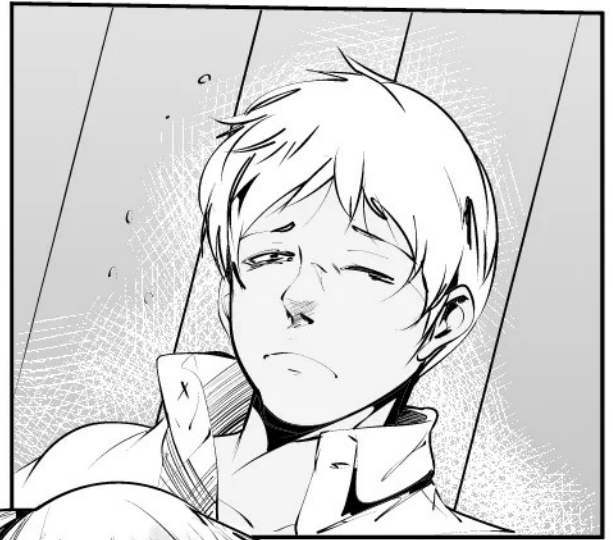
はっ
はっ
はっ
すっ
すっ

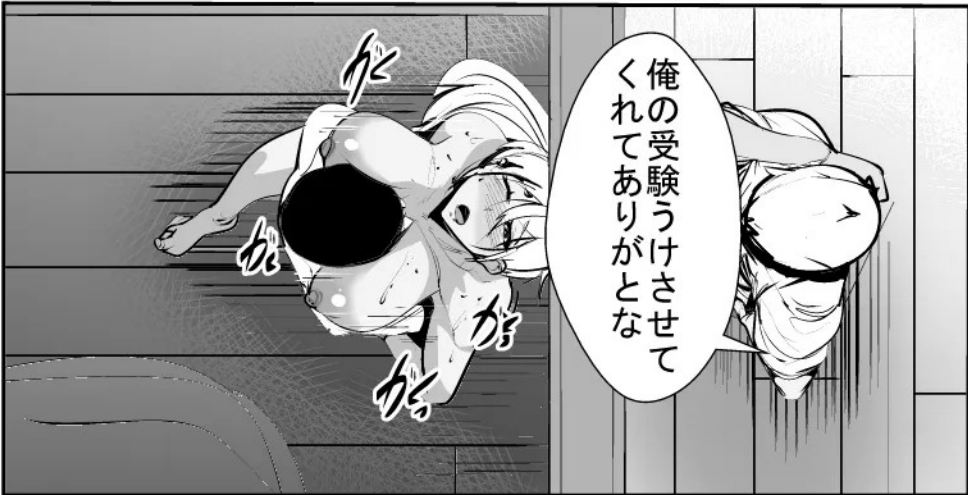
Ph Ph!

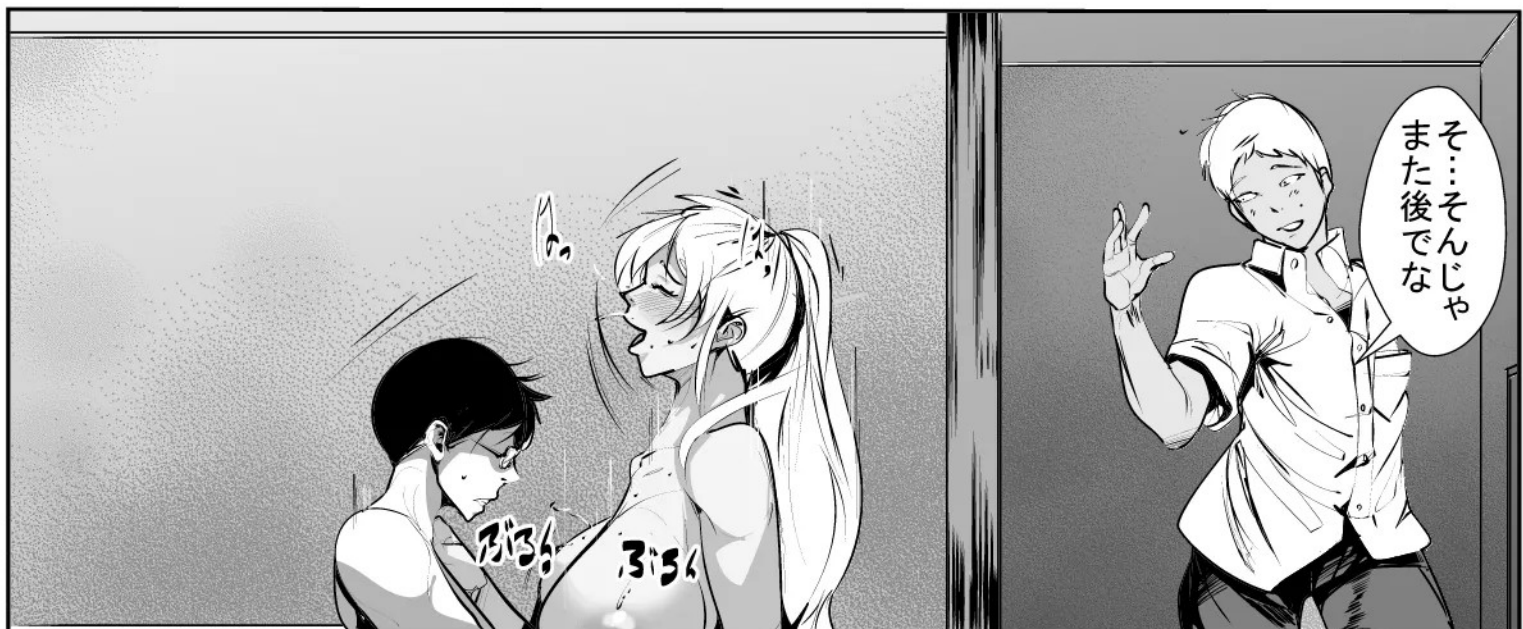
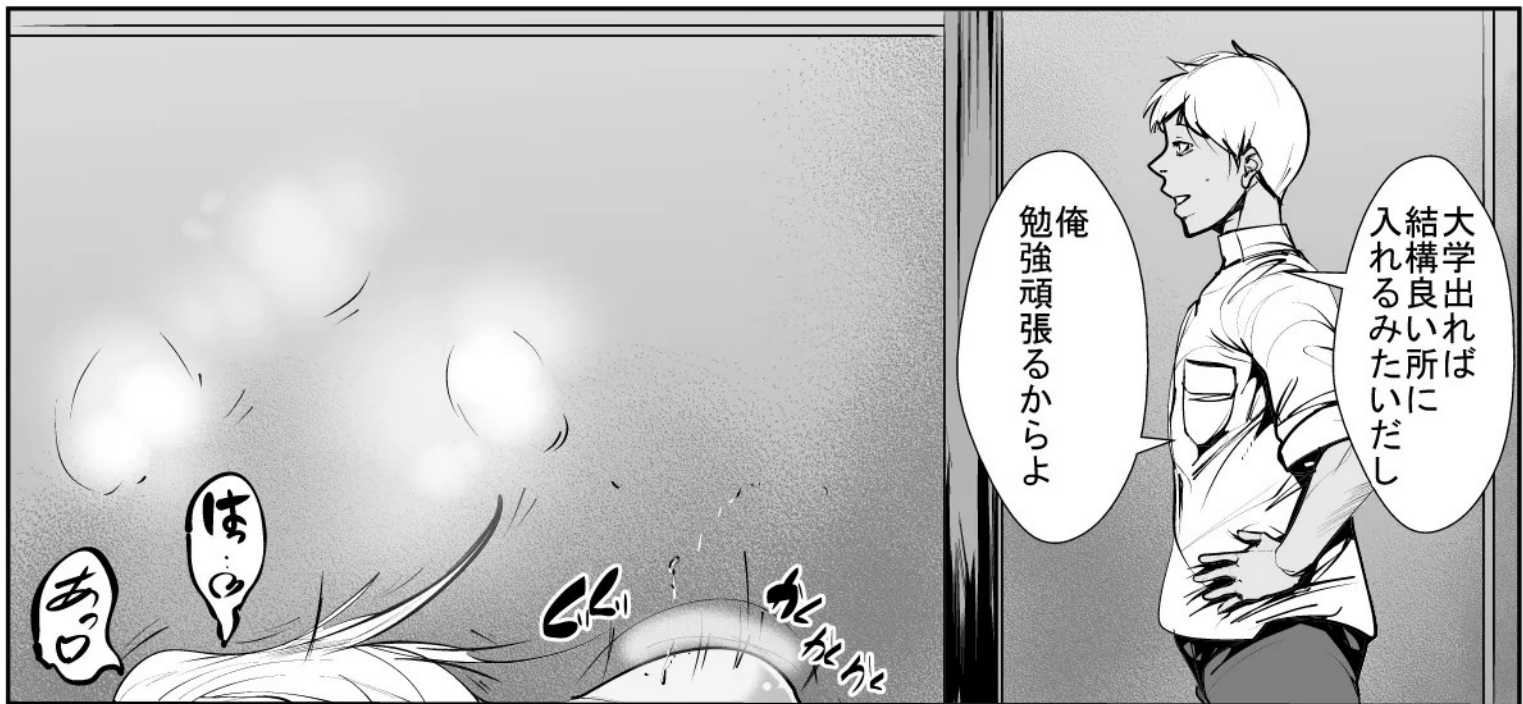
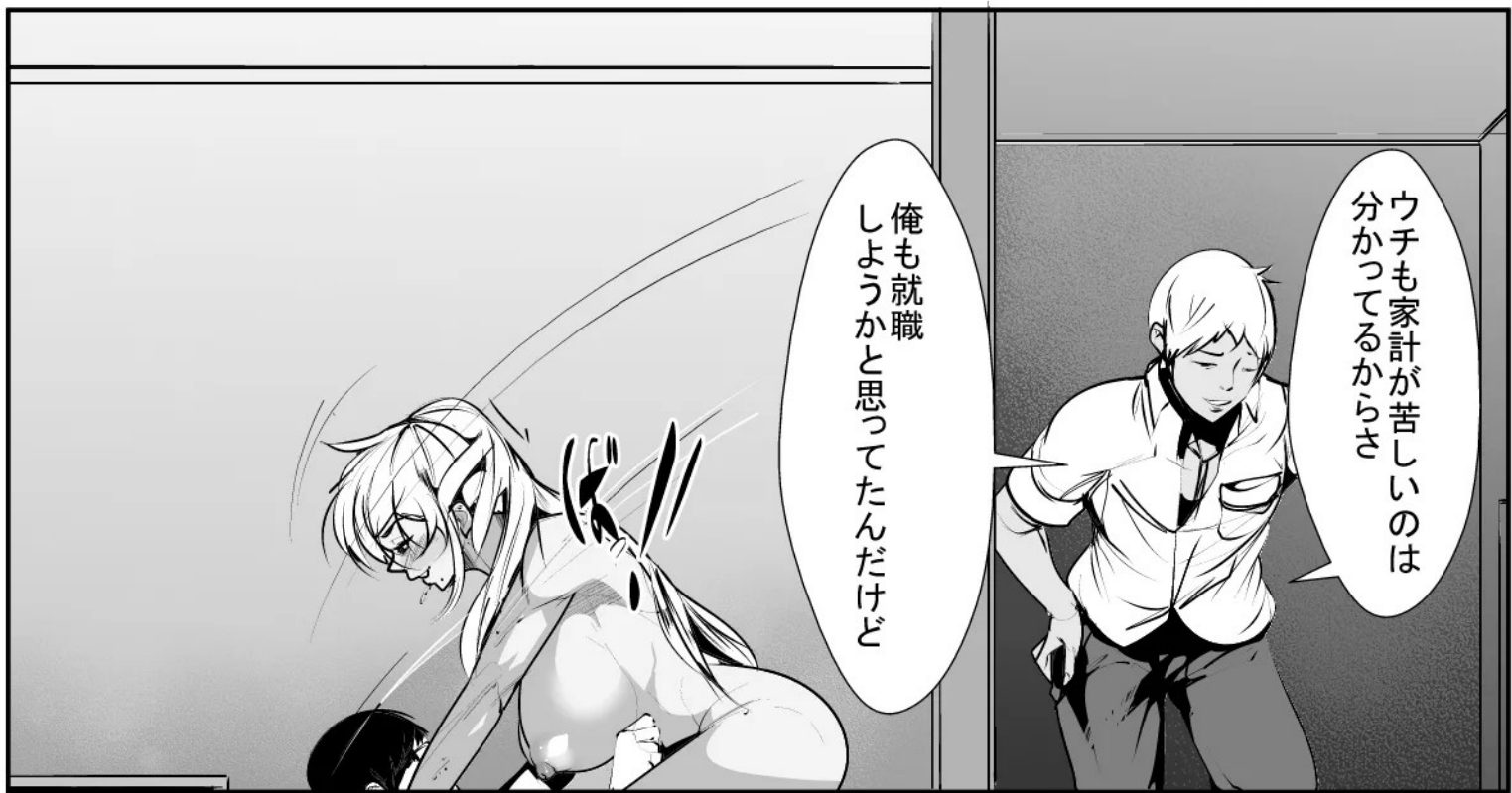
ああん……
そ……そ……おつ

きもちい…いんっ









だ…駄目だ
危なかったあつ
篤志にバレる所だったけど

でもっ

達夫くんとのエッチ
気持ちよすぎて…
やめらんないっつ

ああ…ふあつ



んぐんぐん

うう...あつ

き...きたあ
達夫くんのきもち...い
せうしが...びゅびゅってえつ

き...気持ち
よかったあ



最初はなんで
こんなムカつく奴に
協力しなきゃいけないんだ
って思ってたけど



今じゃ
感謝してるよ



う…うん

おい 今日もウチ来て
勉強教えろよ



おかげで僕と
美里さんは

君じゃ絶対に
繋がれない深い場所で



男と女として
繋がれるようになったんだから

